

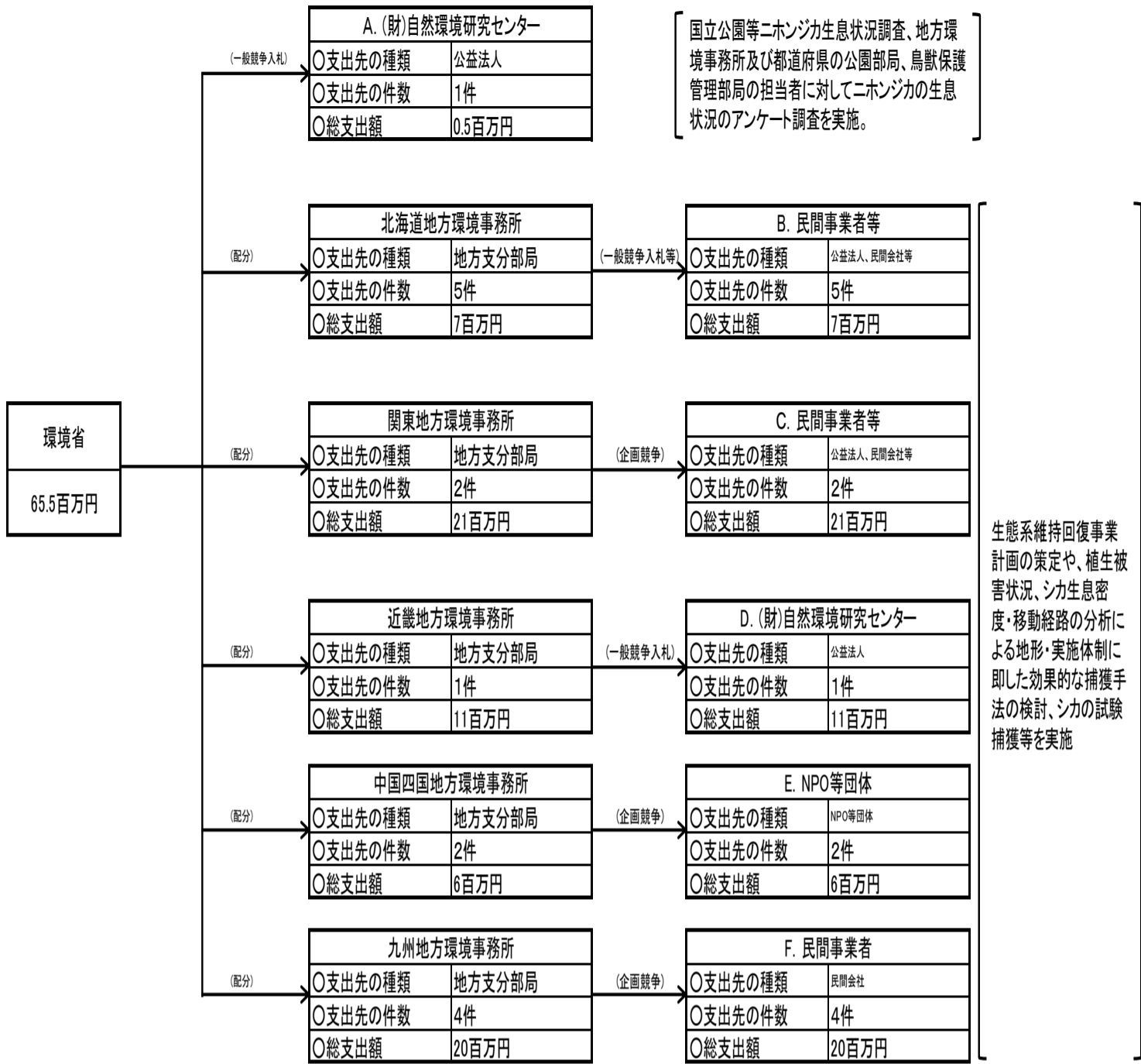
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国立公園等における大型獣との共生推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年		担当課室	国立公園課		課長 桂川 裕樹	
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第2条第7号 自然公園法第3条第2項 自然公園法第38条～第42条		関係する計画、通知等	知床・尾瀬・南アルプス・霧島・屋久島生態系維持回復事業計画 生物多様性国家戦略2010 国立公園における生態系維持回復事業取扱要領			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	シカ被害の著しい国立公園等において、生態系維持回復事業計画の策定及び当該計画に基づく総合的な対策を講じ、シカの生息頭数を適正化し、生態系被害を軽減することで、我が国の生物多様性の保全上重要な国立公園等の貴重な生態系を保全することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生態系維持回復事業等に基づきシカ個体数の適正化を図る。 具体的には、関係機関との役割分担及び協力体制の整理・構築、シカ影響状況把握・植生の現状把握、事業効果検証のモニタリング実施、効果的な捕獲手法及び地域毎の高効率捕獲箇所の検討並びにシカ捕獲に関する知見・技術の集積等を行い、予防的且つ順応的な各種シカ対策を講じることにより生物多様性の保全上、重要な国立公園等の生態系の維持回復を図る。 平成24年度は、緊急的な対策が求められている国立公園等において9事業を実施している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	51	65	76	62	0
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	51	65	76	62	0	
	執行額	51	64	67			
執行率(%)	99	98	87				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	シカの生息頭数を適正化し、生態系の維持回復を図る。なお、地域毎の植生の状況、地形の状況、シカの生息状況等はもろもろ異なるため定量的な目標は設定できない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	生態系維持回復事業計画の策定数		活動実績 (当初見込み)	地域	—	3 (3)	3 (3)
単位当たりコスト	活動指標については、上記のとおりであるが、地域毎に植生、地形、シカの生息状況等の条件が異なり、標準化ができるものではないため、単位あたりのコストを算出することが困難である。		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	62	0				
	計	62	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	事業実施地域は国立公園・国指定鳥獣保護区の核心地域であり、当該地域の自然環境保全は国の責務である。また、当該地域は、優れた自然が保全された国民の保健、休養に資する重要な地域であり、その資質を維持回復する目的で実施している当該事業は国民のニーズがあり優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により支出先を選定することを原則として少額のものにあつては複数者から見積りを取得し、最も安価な者を支出先として決定しているため、競争性を確保した上での適切な支出先を選定している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は、当初見込みに見合ったものであり、成果は各地域において実施されているシカ個体数の適正化に向けた取り組みに十分活用されている。 また、類似事業もなく関連事業との分担が、適正になされている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>環境省において、発注時点からその内容を把握しながら実施するとともに、環境本省と地方環境事務所が協力して、当該事業の執行に際して期間全体にわたって指導・監督に努めており、資金の流れ及び費目・使途の妥当性は確保されている。</p> <p>特に、現地調査等については環境省において事前指導を行った上で実施させるとともに、担当自然保護官が現地の調査に関する連絡調整、調査実施前には調査計画（時期、内容、体制等）や使用する備品等についても確認する等、双方から必要な助言・指導を行っている。また活動実績についても概ね達成されていることから成果目標の達成に向けて順調に業務が進められており、効果的且つ効率的な執行が確保されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>本事業を平成24年度新規事業「鳥獣保護管理強化総合対策事業」と統合し、効率的な事業実施に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	<p>本事業を平成24年度新規事業「鳥獣保護管理強化総合対策事業」と統合し、一体的に事業を実施することにより、事業を効率的に実施するように努めることとし、概算要求額を減額。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	186	平成23年行政事業レビュー	177

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補足
 する) (単位: 百万円)



生態系維持回復事業
 計画の策定や、植生被害
 状況、シカ生息密度・移
 動経路の分析による地形
 ・実施体制に即した効果
 的な捕獲手法の検討、シ
 カの試験捕獲等を実施

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載）	B.(公益財)知床財団			F.(株)九州自然環境研究所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	人件費、印刷製本費、賃金、消耗品費等	1.0	雑役務費	霧島屋久国立公園屋久島地域におけるヤクシカ適正管理方策検討業務	11
	雑役務費	ヘリ運航代	2.5			
	計		3.5	計		11
	C.(財)自然環境研究センター					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	主任技師等	8			
	旅費	現地調査旅費	1			
	その他	レンタカー借料、林道通行料、印刷代、一般管理費等	3			
	計		12	計		
	D.(財)自然環境研究センター					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	主任技師等	6			
	旅費	現地調査旅費	2			
	その他	レンタカー借料、えさ代、印刷代、一般管理費等	3			
	計		11	計		
	E.特定非営利活動法人中国自然史科学研究センター					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	国指定剣山山系鳥獣保護区におけるニホンジカ対策調査業務	3			
	計		3	計		

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

支出先上位10者リスト

A. (財)自然環境研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	国立公園等ニホンジカ生息状況調査	0.5	15	16.1

B. 北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公益財)知床財団	知床岬地区エゾシカ個体数調整業務	3	1	63.3
2	環境コンサルタント(株)	阿寒国立公園エゾシカ対策検討基礎調査業務	2	4	35.71
3	(公益財)知床財団	阿寒国立公園エゾシカ対策検討冬期基礎調査業務	2	2	57.2
4	(有)アグ・ギー	知床岬防鹿柵の補修及び点検業務	0.5	少額随意契約	—
5	(株)ハリーマルチプリント	ポスター作成	0.04	少額随意契約	—

C. 関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	南アルプス国立公園ニホンジカ対策検討調査業務	12	企画競争	—
2	(株)エス・アイ・エイ	尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務	9	企画競争	—

D. 近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	大台ヶ原ニホンジカ個体数調整業務	11	1	99.6

E. 中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター	国指定剣山山系鳥獣保護区におけるニホンジカ対策調査業務	3	随意契約	—
2	社団法人徳島県猟友会	剣山山系(徳島県側)におけるニホンジカ捕獲業務	3	参加者確認公募	—

F. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)九州自然環境研究所	霧島屋久国立公園屋久島地域におけるヤクシカ適正管理方策検討業務	11	企画競争	—
2	(株)九州自然環境研究所	霧島屋久国立公園霧島地域におけるニホンジカ捕獲方法等検討業務	3	企画競争	—
3	(株)緑化技研	霧島屋久国立公園霧島地域におけるノカイドウ自生地保全対策検討業務	3	企画競争	—
3	(株)九州自然環境研究所	霧島屋久国立公園霧島地域における生態系モニタリング業務	3	企画競争	—